

**審査便覧—グループ・エスペシアウ所属エスコーラ・チ・
サンバによるパレードについての基本情報の内、以下の
事項に関連するもの**

- 審査員のスケジュール

- パレード順

- 審査員の権利

- 審査員の義務

- 審査方法

- 審査項目と審査基準

審査員のスケジュール

場所: LIESA本部

(ヒオブランコ通り4、17階 - セントロ)

2010年2月14日(日曜日) - グルーポ・エスペシアウ

時刻: 18時

- 審査員用品を各審査員に配布
- パレード会場へ移動

2010年2月15日(月曜日) - グルーポ・エスペシアウ

時刻: 19時

- パレード会場へ移動

2010年3月15日(月曜日)

審査員への謝礼支払予定

LIESA執行部(任期 2009年から2012年)

代表	- ジョルジ・ルイス・カスタニエイラ・アレシヤンドリ
副代表兼財務部長	- ザカリアス・シケイラ・チ・オリヴェイラ
会計係	- アメリコ・シケイラ・フィーリョ
法務部長	- ネウソン・チ・アウメイダ
秘書室長	- ヴァギネル・タヴァーリス・チ・アラウージョ
カーニバル部長	- エウモ・ジョゼ・ドス・サントス
商務部長	- エリオ・コスタ・ダ・モッタ
文化部長	- イーラン・アラウージョ
社会部長	- ジョルジ・ペルリンジェイロ

パレード順

グループ・エスペシアウ

2010年2月14日

カーニバルの日曜日 21時より

開始時刻	団体	エンヘッド
21:00	G.R.E.S. ウニアオン・ ダ・イーリャ・ド・ゴヴェ ルナドール	“ラ・マンチャのドン・キホーテ、 見果てぬ夢の騎士”
22:05から22:22	G.R.E.S. インペラトリ ス・レオポウチネンセ	“万神の住むブラジル”
23:10から23:44	G.R.E.S. ウニードス・ ダ・チジューカ	“それは秘密です!”
00:15から01:06	G.R.E.S. ウニードス・ ド・ヴィラドウロ	“メキシコ、太陽の印の下の極彩 色の天国”
01:20から02:28	G.R.E.S. アカデミコ ス・ド・サウゲイロ	“果てしない物語”
02:25から03:50	G.R.E.S. ベイジャ・フ ロール・チ・ニローポリ ス	“新世界の太陽の下に輝く、希 望の首都、夢の実体化、ブラジリ ア”

グループ・エスペシアウ

2010年2月15日

カーニバルの月曜日 21時より

開始時刻	団体	エンヘッド
21:00	G.R.E.S. モシダー チ・インデペンデンチ・ チ・パドリ・ミゲウ	“神の天国から狂気の天国へ、各自 が何を探すかを知っている”
22:05から22:22	G.R.E.S. ウニード ス・ダ・ポルト・ダ・ペド ラ	“何を着て行こうか？ あなたが誘っ てくれたサンバに”
23:10から23:44	G.R.E.S. ポルテーラ	“国境を破り、自由を獲得し...恩寵の 州の平和のリオ!”
00:15から01:06	G.R.E.S. アカデミコ ス・ド・グランチ・ヒオ	“スタンド席から1番ボックス席まで あなたの心の終点に感動の “Grande Rio (偉大なリオ)””
01:20から02:28	G.R.E.S. ウニード ス・チ・ヴィラ・イザベ ウ	“ノエウ: 生き続けるヴィラの詩人”
02:25から03:50	G.R.E.S. エスタサオ ン・プリメイラ・チ・マン ゲイラ	“マンゲイラはブラジルの音楽!”

審査員の権利

1. 報酬

グループ・エスペシアウの審査員に対しては、1名2日(日曜日と月曜日)につき2,400(貳千四百)ヘアウの謝礼が支払われる。これは職務の重要性を反映したものではなく、収益の分配でもなく、ただ、我々の大衆文化の根幹を保全し、我が国が誇る最大の催事を称揚するべく無償の努力を払ってもらったことに対する、我々からの感謝の印である。

2. 同伴者

審査員は、LIESAの事前承認を経て、各1名を同伴させることができる。同伴者は、支払義務なしに審査員席施設を利用してパレードを見ることができる。

3. 搬送

審査員およびその同伴者はパレード会場プロフェッソール・ダルシー・ヒベイロ(審査員席入口)まで専用のバスで搬送される。審査員および同伴者については、当該バスを利用するほかにパレード会場(審査員席)に入ることが認められない。各審査員およびその同伴者は、自身の責任において「審査員のスケジュール」に記載の場所・時間に集合すること。パレード終了後は、同バスを用いて各審査員およびその同伴者を各自宅のできるだけ近くまで送る巡回を行う。当該帰路の利用方法については別途カーニバルの日曜日に案内する。

4. 飲食

全審査員およびその同伴者に対しては、審査時間中、定期的に食事が提供される。この食事のほか、審査員席区画では冷蔵庫にノンアルコール飲料が用意してある。

5. 審査員用品

グループ・エスペシアウのパレード各日の審査のために、各審査員に対して、カーニバルの日曜日(2010年2月14日)に以下の物品をセットにしたバインダーを配布する。

「審査便覧」1部。これに採点用紙の「複製」を含む。この「複製」は下書用としてのみ使用すること。

「審査ノート」1部。これに採点用紙の「本票」を含む。全ての「本票」の記入はカーニバルの月曜日の最後の団体のパレード終了後に、全団体について「複製」からの転記を行

う形で最終決定の得点および採点理由を記入する。

- 「審査ノート」の守秘保全を目的とした、封印シール付の封筒1枚
- グルーポ・エスペシアウの各審査員には、「2010年カーニバルのエンヘッド」という冊子1部と、パレードを行う団体の基本情報を含む「アプリ・アラス」という冊子2部（開催日毎に各1部）が配布される。
- 団体名
- エンヘッドのタイトル
- 審査項目毎の基本情報
- エンヘッドの説明・解説
- パレードの構成（アール、山車、その他要素のパレード順と意味）
- サンバ・エンヘッドの歌詞
- その他、各団体が自分たちのパレードを正確に理解してもらう上で必要不可欠と判断した情報
- 一般筆記具（メモ用紙、鉛筆、ペン、鉛筆削り、消しゴム、のり等）

グルーポ・エスペシアウの審査員は、カーニバルの月曜日の最後の団体によるパレードが終了するまで、常にこれらの物品を携帯しなければならない。

万一、紛失、破損その他の理由で、審査員用品の代替を必要とする事態となった場合は、LIESA所属の審査員担当調整係に届け出て、同係の然るべき対処を待つこと。

審査員の義務

1. 集合場所への出頭

パレードについての最終案内がLIESAにて行われるため、全審査員は、前述の集合場所・時間指定に従ってLIESAに出頭しなければならない。

カーニバル期間中、市内交通には変更が多く、また、これにつれて、渋滞遅延等が発生しがちであることを考慮し、全審査員およびその同伴者は「審査員スケジュール」に記載の時間の厳守を心がけ、間違っても自らの遅刻によってパレードの開始を遅らせることがあってはならない。また、審査員、同伴者とも、パレード会場への移動は専用バスによってのみ可能である。ただし、当該専用バスについては、事前に然るべき承認を得ることで出発地を設定することができる。

2. LIESAのTシャツ着用

全審査員は、パレード開催日の間、LIESAのTシャツを着用しなければならない。LIESAのTシャツ着用には、エスコラ・ヂ・サンバの構成員が審査員の存在を知るという点で、根本的な重要性があることをここに重ねて強調する。

3. 審査員席への入場

審査員はLIESA所属の審査員担当調整係の案内に従って審査員席に入場する。

4. 審査員席からの退出禁止

審査員は、各団体のパレード時間全体に亘って、審査委員席にとどまり続けなければならない。すなわち、パレード時間中は、いかなる解釈によっても、同伴者に割り当てられた席その他、自分に割り当てられた審査員席以外の場所にとどまってはならない。

5. 電話の使用禁止

審査員は、いかなる解釈、条件によろうとも、私物であるか審査員モジュールの備品であるかを問わず、電話を使用してはならない。審査員モジュールの電話はLIESA所属の審査員担当調整係専用であり、その使用は然るべき指示によって限定されている。万一、緊急の用件がある場合には、LIESA所属の審査員担当調整係に用件内容を伝え、同係を通じて相手方返答を伝言として受けなければならない。また、同係を通じて、個々のエスコラ・ヂ・サンバが他の審査員席の前でどのようなパフォーマンスを見せたかを照会することは認められない。すなわち、審査員間での情報交換は禁止される。

6. ラジカセ、ページャー、テレビの使用禁止

報道機関等による評価が、何らかの形で、審査に影響することを避ける必要性に鑑み、いかなる解釈によっても、どのような条件下においても、審査員はラジカセ、ページャー、テレビ等の機器を使用してはならない。

7. 守秘義務

グループ・エスペシアウ所属のエスコーラ・チ・サンバによるパレードは(日曜日と月曜日)の2日間に亘るため、1日目と2日目の間、審査員はそれまでに行った採点をすべて自宅に持ち帰らなければならない。また、誰にもその内容を明かしてはならない。灰の水曜日に行われる採点結果の開票集計が最終的に終了するまで、いかなる解釈によっても、採点を公開してはならず、また、いかなる出場団体についてもそのパフォーマンスについてのコメントまたは意見を表明してはならない。たとえ報道機関からインタビューや出演依頼があっても同様である。

8. 採点方法および採点項目毎の採点基準の順守

全審査員は、採点方法および採点項目毎の採点基準を厳守しなければならない。すなわち、各審査員は自身が担当する採点項目のみに集中専心し、いかなる解釈によっても、いずれかの団体によるパレードについての総合評価に影響されてはならない。また、パレードの場で実際に披露されたパフォーマンスについてのみ評価を行うこと。

9. 採点理由

満点である10(壹拾)点以外の得点をつけた場合には、必ず、審査ノートに付属の所定欄にその理由を記載しなければならない。表現程度の異なる形容詞を用いながら同じ得点を与えることや、理解困難な語法の使用は避けること。10(壹拾)点以外の得点に理由を書かなかった場合、次回以降、LIESA主催のパレードにおける審査員団から追放されることがある。

採点手順

1. 審査ノートへの記入とその提出

グループ・エスペシアウの審査ノート本紙への記入は、カーニバルの月曜日の最後の団体によるパレードの終了後に行われなければならない。記入手順、記入にあたっての義務、注意事項を以下に記す。

1. 団体毎の得点(仮評価と最終評価の両方)を、数字と言葉の両方で記入する。
2. 全ての採点について、理由を所定欄に記載する。
3. 追記、補足説明が必要な場合は、審査ノート中の所定欄に記入する。
4. 所定欄にブロック体で記名する。
5. 所定欄に署名する。
6. 審査ノートを以下の要領によって所定の封筒に封入する。
7. 綴蓋全体に糊を縫って、封筒を閉じる。
8. 所定の封印シールを綴蓋部分に貼る。
9. 封印シールの指示に従って、封印シール、綴蓋、封筒本体、封筒の綴蓋のすべてにかかるように署名する。
10. LIESA代表および審査員調整担当係による回収を待つ。回収された審査ノートは鍵がかかるケースに入れられ、開票日まで警備会社の管理下におかれる。

採点情報の秘匿性を失うことのないよう、記入済の採点情報の訂正についての問い合わせは受け付けないので、上記手順を厳守するよう、ここに重ねて要請する。

2. グループ・エスペシアウー審査員団の編成

審査対象の10(壹拾)項目につき、各5(伍)名の審査員を選任し、総体で50(伍拾)名の審査員団を組織する。開票集計にあたっては、審査対象の10(壹拾)項目のそれぞれにつき、各エスコーラ・ヂ・サンバに与えられた最高点と最低点が集計から自動的に除外される。別途、グループ・エスペシアウ所属エスコーラ・ヂ・サンバによるパレードの実施要項に明示するもののほか、これ以上得点集計から除外されるものはない。パレードについての正規の開票集計は、2010年2月17日(灰の水曜日)の15時に、採点票の読み上げから開始する。

3. 審査対象項目

グループ・エスペシアウ所属エスコーラ・ヂ・サンバによるパレードについての審査対象項目は以下の通りである。

- バテリア
- サンバ・エンヘッド
- アルモニア(調和)
- エヴォルサオン(山場作り、盛り上がり)
- エンヘッド
- コンジュント(総体)
- 山車と装飾
- 衣装
- コミッサオン・ヂ・フレンチ
- メストリ・サラとポルタ・バンデイラ

4. 審査員席

審査員席は、パレード会場中、以下の要領で割り振られる。

第1分席	第2分席	第3分席	第4分席	第5分席
バッテリー	バッテリー	バッテリー	バッテリー	バッテリー
サンバ・エンヘッド	サンバ・エンヘッド	サンバ・エンヘッド	サンバ・エンヘッド	サンバ・エンヘッド
アルモニア	アルモニア	アルモニア	アルモニア	アルモニア
エヴォルサオン	エヴォルサオン	エヴォルサオン	エヴォルサオン	エヴォルサオン
エンヘッド	エンヘッド	エンヘッド	エンヘッド	エンヘッド
コンジュント	コンジュント	コンジュント	コンジュント	コンジュント
山車と装飾	山車と装飾	山車と装飾	山車と装飾	山車と装飾
衣装	衣装	衣装	衣装	衣装
コミッサオン・ヂ・フレンチ	コミッサオン・ヂ・フレンチ	コミッサオン・ヂ・フレンチ	コミッサオン・ヂ・フレンチ	コミッサオン・ヂ・フレンチ
メストリ・サラとポルタ・バンデイラ	メストリ・サラとポルタ・バンデイラ	メストリ・サラとポルタ・バンデイラ	メストリ・サラとポルタ・バンデイラ	メストリ・サラとポルタ・バンデイラ
セクター03と03Aの間	セクター 02-C ボックス席 38, 39 e 40	セクター 02-B ボックス席 68	セクター02-C ボックス席100, 102, 103, 104	セクター11 ボックス席22, 23 e 24

5. 審査員席の割り当て

どの審査員をどの分席に割り当てるかは、審査員団結成パーティの席で行われる抽選によって決定する。

6. 採点者の心構え

まず、芸術的表現を審査対象としていることを確認する。そもそも採点は、他の種目の採点でもそうであるように、主観的判断が入り込む問題であり、2足す2が常に4となる数学とは異なる。一方で採点者には、自らが担当する分野の採点基準に関係して採点項目を構成する様々な要素を完全に理解した上で、感情や情熱を排除し、技術評価を行う場合と同様の批評的な距離感を保つことが求められる。

このため、審査員は以下の事項を考慮してはならない。

- 対象のエスコラ・ヂ・サンバの名前や世間での人気。
- 自身の担当採点項目に影響しそうな統一感、全体的な印象。これらについては、コン

ジュント担当の審査員が評価するので、他分野の審査員はこれに基づいて評価を行ってはならない。

- パレード会場における観客の反応
- テレビ、ラジオ等で伝えられる識者の見解

このように、審査員は自身が専門として担当する項目に限って、実際にエスコーラ・チ・サンバがパレード時間内に披露したパフォーマンスのみを対象として、技術的な評価を行わなければならない。各審査員が自身に割り当てられた項目のみに着目することは、根本的な課題である。エスコーラ・チ・サンバがパレードで披露するパフォーマンスは、彼らの芸術的表現力、技術力、運営力を結集した結果であることを忘れてはならない。審査員はこれを採点を通じて客観的評価という土台に受け渡す役目を負うものである。

各審査員は各エスコーラ・チ・サンバに対して、8(八)点から10(壹拾)点の間で、以下の要領で採点を行う。

- 小数点第1位表記の採点が認められる。すなわち、8.1(八と壹拾分の壹)、8.2(八と壹拾分の貳)、8.3(八と壹拾分の参)から、9.9(九と壹拾分の九)、10.0(壹拾)まで。
- 審査対象項目について、エスコーラ・チ・サンバが何も披露しなかった場合にのみ、0(零)点が認められる。
- 採点票上で得点を削除した場合には、余白または「補足」の欄にその旨を記載すること。不明点が残った場合には、開票集計委員が最終的な判断を行う。

補足:

採点基準の欄で説明するように、審査項目「サンバ・エンヘッド」については採点方法が異なり、下位項目を用いて採点を行うようになっている。「サンバ・エンヘッド」の審査員は、下位項目の採点結果を合計し、その計算結果を採点票の最終得点欄に記載する。当審査項目(サンバ・エンヘッド)担当の審査員は、エスコーラのパフォーマンスについての評価を、2つの下位項目毎に分けて理由欄に記入しなければならない。その他の評価項目については、「下位項目」を用いた採点はない旨、ここに表明する。

罰するという語彙を広義に解釈すれば、審査基準に従って減点するということにつながる。すなわち、合理的判断として罰すべき場合には、審査員は罰せられるべきエスコーラに対して満点をつけることはできない。

7. 採点票

本便覧中、本章の最後に、採点票のサンプル(複製)を記載する。

重ねて表明するが、10(壹拾)点以外の採点については、必ず、どのような事象によって減点が適当と判断したのかという理由を所定欄に記載すること。

本便覧付帯の採点票(複製)は、下書用途に用いることが好ましい。なぜならば、(審査ノートを構成する)採点票(本票)については、カーニバルの月曜日の最終の団体のパレード終了後に記入、署名されなければならないからである。また、審査の秘匿性と公平性を担保するため、審査ノートの内容については、開票集計の最終結果が発表されるまで、誰にも明かしてはならない。

採点票

採点
項目

2010年2月14日(日曜日)

出場順
G.R.E.S. ウニアオン・ダ・イーリヤ・ド・ゴヴェルナドール
G.R.E.S. インペラトリス・レオポウチネンセ
G.R.E.S. ウニードス・ダ・チジューカ
G.R.E.S. ウニードス・ド・ヴィラドウロ
G.R.E.S. アカデミコス・ド・サウゲイロ
G.R.E.S. ベイジャ・フロール・チ・ニローポリス

得点	
数値	文字表記

審査員名:

署名:

採点票

採点
項目

2010年2月15日(月曜日)

出場順
G.R.E.S. モンダーチ・インデペンデンチ・チ・パドリ・ミゲウ
G.R.E.S. ウニードス・ド・ポルト・ダ・ベドラ
G.R.E.S. ポルテーラ
G.R.E.S. アカデミコス・ド・グランヂ・ヒオ
G.R.E.S. ウニードス・チ・ヴィラ・イザベウ
G.R.E.S. エスタサオン・プリメイラ・チ・マンガイラ

得点	
数値	文字表記

審査員名:

署名:

採点票

採点 項目	サンバ・エンヘッド
----------	-----------

2010年2月14日(日曜日)

出場順
G.R.E.S. ウニアオン・ダ・イーリャ・ド・ゴヴェルナドール
G.R.E.S. インペラトリス・レオポウチネンセ
G.R.E.S. ウニードス・ダ・チジューカ
G.R.E.S. ウニードス・ド・ヴィラドウロ
G.R.E.S. アカデミコス・ド・サウゲイロ
G.R.E.S. ベイジャ・フロール・ヂ・ニローポリス

得点			
歌詞	メロ デ イ	合計 数 値	合計文字表 記

審査員名:

署名:

採点票

採点
項目

サンバ・エンヘッド

2010年2月15日(月曜日)

出場順

G.R.E.S. モンダーチ・インデペンデンチ・
チ・パドリ・ミゲウ

G.R.E.S. ウニードス・ド・ポルト・ダ・ペドラ

G.R.E.S. ポルテーラ

G.R.E.S. アカデミコス・ド・グランヂ・ヒオ

G.R.E.S. ウニードス・チ・ヴィラ・イザベウ

G.R.E.S. エスタサオン・プリメイラ・チ・マン
ゲイラ

得点

歌詞

メロデ
イ

合計数
値

合計文字表
記

審査員名:

署名:

審查基準

バテリアの審査基準

8点から10点の得点を与える上で、審査員は以下の事項を考慮しなければならない。

- サンバ・エンヘッドと調和した 律動感とコンスタントなリズムキープ
- 様々な楽器の音から発せられる音の集合統一感
- 創造性、変幻自在感

考慮に入れてはならない事項

- バテリアの構成員の人数。人数不足については、最低人数制限についての罰則規定で取り扱うため。
- 管楽器またはそれに類似する音を発する楽器の使用(これも別途罰則規定で取り扱うため)
- バテリアが審査員席前で立ち止まらなかったり、2つ目の停止エリア(セクター9と11の間)に停止しなかったりすること。これらは義務事項ではないため。
- PA車または会場PAの故障
- その他、他の審査項目で取り扱うべき事項

サンバ・エンヘードの審査基準

審査項目サンバ・エンヘードに関して、審査員はパレード上で披露されたサンバ・エンヘードの歌詞としての価値を尊重し、歌詞とメロディとに分けて評価を行う。

歌詞 (下位項目配点: 4点から5点)

- 歌詞は明文としても存在し、また解釈も可能である。エンヘードを語る手段である以上、細かい点まで固定的であり続ける必要はなく、解釈可能と見るべきである。

考慮すべき点

- エンヘードを表現するのに適当な言葉が使われているかどうか
- 歌詞としての豊かさ、言葉の響きの美しさ、趣味の良さ
- メロディとの相性、すなわち、言葉の意味および韻律がメロディ表現と合致しているかどうか

メロディ (下位項目配点: 4点から5点)

考慮すべき点

- サンバラしいリズム感
- 音楽表現として見た、メロディの豊かさ、美しさ、趣味の良さ
- パレード参加者にとっての歌いやすさ、踊りやすさを生む音楽的ハーモニー。

考慮に入れてはならない事項

- サンバ・エンヘード内に、商業広告(暗示明示を問わず)が含まれているかどうか(別途罰則規定で取り扱うため)。
- PA車または会場PAの故障
- その他、他の審査項目で取り扱うべき事項

アルモニア(調和)の採点基準

エスコーラ・ヂ・サンバのパレードにおけるアルモニアとは、リズムと歌との統合である。

8点から10点の得点を与える上で、審査員は以下の事項を考慮しなければならない。

- エスコーラの構成員が歌うサンバ・エンヘッドが完全に揃っていて、プシャドール(サンバのインテルプレッチ((解釈者))たる歌手)と一致し、和音の響きを保っていること。
- 曲の総体(エスコーラ全体で歌われたもの)としての評価
- 曲の調和

考慮に入れてはならない事項

- PA車または会場PAの故障
- その他、他の審査項目で取り扱うべき事項

エヴォルサオン(山場作り、盛り上がり)の審査基準

エスコーラ・ヂ・サンバによるパレードにおけるエヴォルサオンとは、サンバのリズムおよびバテリアの律動に沿って展開される、ダンスの変化である。

8点から10点の得点を与える上で、審査員は以下の事項を考慮しなければならない。

- パレードのよどみない進行。アーラ、デスタッキ、山車について走駆、逆行、後戻りが見られた場合には減点すること。
- パレード参加者の自発性、創造性、高揚感、躍動
- 隊列の結合感。すなわち、アーラ、山車の間隔ができるだけコンスタントに保たれていること。大きな間隔(穴)の存在やアーラ、グループの混交(例えば、あるアーラが前のアーラに突入してしまう等)を減点対象とする。

考慮に入れてはならない事項

- パレードの進行上、意図的に開けられた自然な間隔。必要性が理解できる範囲であること、または、以下の目的のために設けられた間隔。
 - メストリ・サラ、ポルタ・バンデイラ、コミッサオン・ヂ・フレンチその他特別な振付のため
 - バテリアが正規にバテリア待機エリアに出入りすること
- ミスによって生じた間隔を埋めようとするものを除き、振付や演出上の動きによってアーラの一部または全部が逆行すること
- PA車または会場PAの故障
- その他、他の審査項目で取り扱うべき事項

エンヘードの採点基準

エスコーラ・ヂ・サンバによるパレードにおけるエンヘードとは、テーマまたはコンセプトの芸術的創造および表現である。

8点から10点の得点を与える上で、審査員は以下の事項を考慮しなければならない。

- エスコーラによって提示された、主張またはテーマ、もしくは基本構想
- 提示されたテーマの展開全般
 - パート(アーラ、山車、衣装等)に分割して順序立てた表現が、エスコーラから事前に提出された構成企画書(冊子「アブリ・アーラス」)の記載内容に沿って、提示されたテーマや主張の理解を促進しているかどうか
 - 創造性 (奇をてらうものとは異なる)
 - 適応性。すなわち、提示されたテーマまたは主張と、その産物である会場で披露された表現(衣装、山車、その他造形物等)との関連が説得力をもっているかどうか

減点対象

- エスコーラから事前に提出された構成企画書に反して、山車やアーラの順番を違えたり、なくしたりすること
- エスコーラから事前に提出された構成企画書(冊子「アブリ・アーラス」)から予想される山車またはアーラがないこと

考慮に入れてはならない事項

- エンヘードのブラジルらしさ。すなわち、当該エスコーラがブラジルならでのテーマに基づいたエンヘードを披露しなかったこと
- サンバ・エンヘード内に、商業広告(暗示明示を問わず)が含まれているかどうか(別途罰則規定で取り扱うため)。
- その他、他の審査項目で取り扱うべき事項

コンジュント(総体)の採点基準

エスコーラ・ヂ・サンバによるパレードにおけるコンジュントとは、文字通りパレードの「全て」であり、エスコーラがどのように披露したのかを統合的に総体としてみるべきものである。

8点から10点の得点を与える上で、審査員は以下の事項を考慮しなければならない。

- 当該エスコーラの全ての表現手段(音楽、演出、視覚効果等)にわたる統一感
- 総体で見た芸術的バランス

考慮に入れてはならない事項

- 生きた動物の存在(別途罰則規定で取り扱うため)
- PA車または会場PAの故障

山車・装飾の採点基準

当項目の審査対象となるのは、山車(台車の上に構築されたセット、背景セット((小山車))を含む)および装飾(台車上ではないセット状の構築物)である。

8点から10点の得点を与える上で、審査員は以下の事項を考慮しなければならない。

- パレードで披露された山車および装飾のみを評価対象とすること
- エンヘッドに引き比べた、山車および装飾の概念および適合性。すなわち造形がエンヘッドの内容を伝達する役目を果たしているかどうか
- 創造性。ただし、必ずエンヘッド内で意味を有していなければならない
- 形状および、材質と色の統合、使用、探究、配置がもたらす印象
- 動力部、発電機等を含め、視覚的出来栄えに至る造作、装飾の仕上げの丁寧さ
- デスタッキその他山車の搭乗員およびその衣装についても山車を構成する一部として評価すべきこと

減点対象項目

- 衣装の切れ端、梯子、箱、発泡スチロール、その他山車または装飾の意味するところに対して違和感を生じさせる物品の残置
- 作り付け、装飾等の処理がなされていない発電機の露出

考慮に入れてはならない事項

- 山車、装飾内に、商業広告(暗示明示を問わず)が含まれているかどうか(別途罰則規定で取り扱うため)
- 山車および小出車の最大最少制限(別途罰則規定で取り扱うため)
- 当該エスコラのパレード中の山車および装飾の転回または逆行
- その他、他の審査項目で取り扱うべき事項

衣装の審査基準

当審査項目ではエスコーラによって披露された衣装を審査対象とするが、山車搭乗者、メストリ・サラとポルタ・バンデイラ、コミッサオン・ヂ・フレンチの衣装は対象としない。

8点から10点の得点を与える上で、審査員は以下の事項を考慮しなければならない。

- エンヘッドに引き比べた、衣装の概念および適合性。すなわち造形がエンヘッドに含まれる各部位の内容を伝達する役目を果たしているかどうか
- 創造的であること。ただし、必ずエンヘッド内の意味を有していなければならない
- 形状および、材質と色の統合、使用、探究、配置がもたらす印象
- 造作、装飾の仕上げの丁寧さ
- 同一アール、グループ内での衣装の統一性(パンツ、靴下、ショーツ、ビキニ、ブラ、帽子、その他指定されていることが明白であるものが等しく揃っていること)。

減点対象項目

- 帽子、靴、その他、衣装の本来の意図として存在すべきであることが明白であるパーツが、欠落していること

考慮に入れてはならない事項

- 衣装に、商業広告(暗示明示を問わず)が含まれているかどうか(別途罰則規定で取り扱うため)
- 参加者の中に(装飾・塗装してある場合を含め)性器を露出した者がいること(別途罰則規定で取り扱うため)
- エスコーラのシャツを着用したデレートの存在(ただし、両サイドまたはエスコーラ全体の最後尾を通行している場合に限る)
- その他、他の審査項目で取り扱うべき事項

コミッサオン・ヂ・フレンチの採点基準

コミッサオン・ヂ・フレンチは、人間として先頭をパレードするグループであり、徒歩または車上で、エンヘッドの主張に沿った衣装、または伝統的なスタイルで登場するものである。

8点から10点の得点を与える上で、審査員は以下の事項を考慮しなければならない。

- 観衆に挨拶し、エスコーラを紹介するという本来機能を果たすこと。審査員席の前では必ずこれを行わなければならない。
- 審査員席前で必ず披露しなければならないパフォーマンスの調整、調和、創造性。展開の方向性は自由。
- コミッサオン・ヂ・フレンチの衣装。(フロックコート、コート、サマースーツ、テーラードスーツ、スモーキングジャケット等の)伝統的衣装、または、エンヘッドに関連して作られたもの。後者の場合、エンヘッドの主張と適合しているかどうか

減点対象項目

- 事故であっても、靴、タスキ、帽子等のパーツの脱落、欠落

考慮に入れてはならない事項

- 個人または団体で、別グループであっても同年に同じ役割で出場した者を、コミッサオン・ヂ・フレンチのメンバーとして出場させること(別途罰則規定で取り扱うため)
- その他、他の審査項目で取り扱うべき事項

メストリ・サラとポルタ・バンデイラの採点基準

8点から10点の得点を与える上で、審査員は以下の事項を考慮しなければならない。

- メストリ・サラとポルタ・バンデイラによるペアダンスのパフォーマンス。サンバラしく踊っているかどうかということではなく、サンバのリズムに乗って、特有のステップを踏み、特徴的な動作、会釈、ターン、方向転換、回転を伴う舞踊を行っているかどうか。審査員席前でのパフォーマンス実行は義務である。
- パフォーマンス中のペアの愛嬌、軽やかさ、威厳を伴った調和。整合的な一連の動作によってペアの結合が示されなければならない
- メストリ・サラの役割が果たされているか。ポルタ・バンデイラをリードすること、エスコーラの旗を守り、披露すること。動きやポーズをエレガントかつ恭しく行い、ペアを組む淑女(ポルタ・バンデイラ)への敬意を表さなければならないこと
- ポルタ・バンデイラの役割が果たされているか。エスコーラの旗を運び、披露すること。旗を常にたなびかせ、自身の体に絡まらないようにすること。また、旗をメストリ・サラに任せきりにしないこと
- ペアが着用する衣装がダンスに適合したものであるかどうか。また形状、仕上げから受ける印象

減点対象項目

- 事故であっても、靴、タスキ、帽子等のパーツの脱落、欠落

考慮に入れてはならない事項

- 別グループであっても同年に同じ役割で出場した者を、第一メストリ・サラ、第一ポルタ・バンデイラとして出場させること。各自が別の者とペアを組んで出場していた場合も同様(別途罰則規定で取り扱うため)
- パレード中の交替(別途罰則規定で取り扱うため)
- その他、他の審査項目で取り扱うべき事項